

人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根をつくる



島根県土木部の取組 (令和6年度)

令和6年5月

【目次】

1. 島根県土木部予算の概要	P. 1
2. 今後10年間の公共土木事業の実施方針 (R3.3 策定)	P. 2
① 道路事業	
骨格幹線道路	P. 4
交通安全事業	P. 8
老朽化対策	P.11
橋梁耐震	P.12
落石対策	P.13
② 河川事業	P.14
③ 砂防事業	P.19
④ 港湾事業	P.22
⑤ 空港事業	P.26
3. 大雨・大雪への対応 (R3.7~8大雨災害からの復旧、R5.1大雪を踏まえた除雪体制の検討)	P.28
4. その他の主な取組	
・道の駅「邑南の里」(道の駅「瑞穂」の再整備)	P.29
・大田市駅前のまちづくり(〔都〕栄町高禅寺線の整備)	P.30
・(都)元町人麿線(2期区間)の整備	P.31
・県立浜山公園(国民スポーツ大会に向けた整備)	P.32
・県営住宅 松江市淞北台団地再整備事業	P.33
・しまね長寿・子育て安心住宅リフォーム助成	P.34
・建設産業の担い手確保・育成	P.35
・インフラ分野のDX(デジタル・トランスフォーメーション)	P.36
・宍道湖流域下水道のストックマネジメント	P.39
・下水道バイオマスの有効活用	P.40
5. 参考	
・防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策	P.41
・大橋川改修(国直轄事業)	P.42
・江の川下流河川改修事業～緊急対策特定区間～	P.43
・山陰道 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路	P.44
※【別表】各事業の新規着手・完了予定箇所(道路、河川、砂防)	P.45
※ 問い合わせ先	P.50

令和6年度 島根県土木部予算の概要

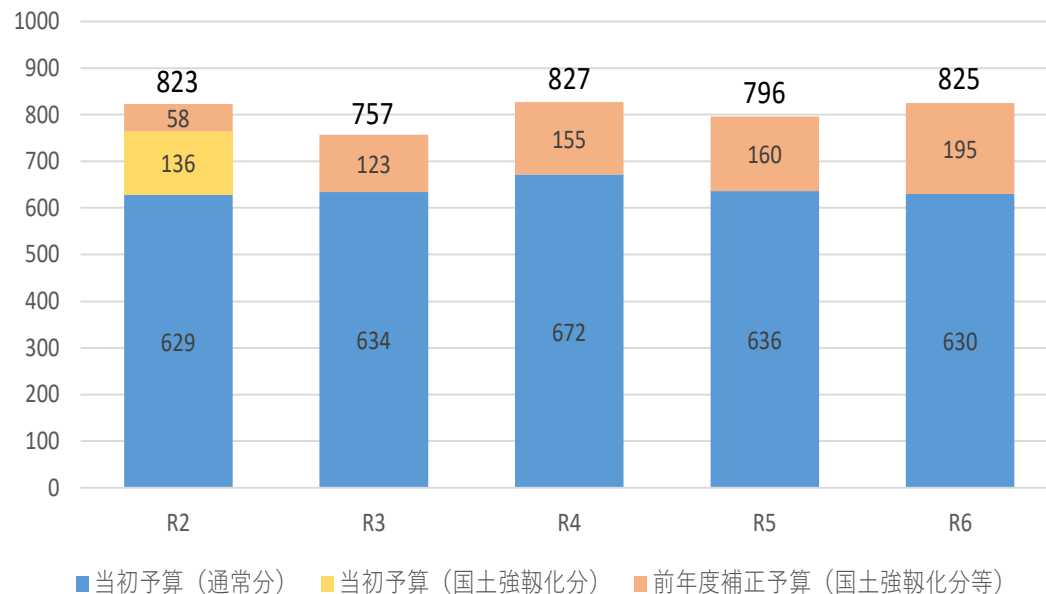
- ・ 島根県全体の令和6年度予算額（一般会計）は、4,946億円 ※1
- ・ 県予算のうち、**土木部の予算額は、980億円**（対前年度比 1.03） ※2
- ・ 土木部予算のうち、**公共事業費は、825億円**（対前年度比 1.04） ※3

※1 令和6年度当初予算及び令和5年度11月補正・2月補正予算の合計。

※2 令和5年度11月補正及び2月補正予算の総額194億円を含む。流域下水道事業会計（企業会計）を含まない。

※3 令和5年度11月補正及び2月補正予算の総額195億円を含む。流域下水道事業会計の公共分25億円を含む。

公共事業費の推移（単位：億円）



POINT!!

- ・ 令和6年度は、当初予算に加え、令和5年度補正予算で国土強靱化対策を前倒しで計上し、**切れ目のない予算**を編成しています。
- ・ 国の「防災・減災、国土強靱化のための**5か年加速化対策**」を計画的かつ着実に進めていきます。

今後10年間の公共土木事業の実施方針（R3.3 策定）

土木部では、令和2年度からの10年間の公共土木事業（道路、河川、砂防、港湾、空港）について、事業ごとの実施方針及び数値目標を設定し、令和3年3月に公表しました。

道路事業

1 道路建設

i) 骨格幹線道路

- ・高速道路の整備効果を早期に全県へ波及させるため、令和11年度までに、未改良区間を解消

ii) 幹線道路、生活関連道路

- ・現在事業中の全ての工区を、令和15年度までに完成

iii) 交通安全事業

- ・小中学生の通学路や交通事故の危険性が高い箇所など、令和11年度までに、64工区で対策を完了

2 道路維持

i) 老朽化対策（橋梁、トンネル等）

- ・早期修繕が必要な317施設を令和5年度までに対策完了
- ・橋梁の保全を、事後対処型から事前予防型へ移行し、今後40年間で必要な修繕コストを約2割縮減

ii) 舗装修繕

- ・交通量に応じた管理基準（ひび割率など）を定めて修繕

iii) 橋梁耐震

- ・緊急輸送道路上の221橋を、令和11年度までに耐震化

iv) 落石対策

- ・30cm未満の石への対策が必要な2,688箇所を、15年程度で対策完了（緊急輸送道路上の783箇所を優先）

河川事業

1 河川改修

i) 近年発生した災害への対応

- ・近年の豪雨により被災した河川について、被災した際と同程度の洪水に対応できるよう、再度災害防止対策を重点的に実施
（特に、立て続けに被災した江の川の支川を最優先）

- ・江の川は、二度の家屋浸水被害（H30・R2）が発生した12河川（県管理6河川）を、優先的・重点的に対策実施

ii) 県東部市街地の浸水対策

- ・整備が遅れている県東部市街地（低平地）の浸水対策を重点的に実施
（特に、国の直轄事業との連携が必要な湯谷川を優先）

2 ダム建設

i) 波積ダム（江の川水系都治川）

- ・S47.7月豪雨と同規模の洪水による浸水被害を解消（令和6年度運用開始）

ii) 矢原川ダム（三隅川水系）

- ・S58.7月豪雨と同規模の洪水による浸水被害を解消（令和10年代中期のダム完成を目指す）

3 河川管理施設の老朽化対策・維持

- ・排水機場やダムの長寿命化、河川内の樹木伐採や土砂撤去

4 海岸事業

- ・侵食や越波被害の程度が大きい2海岸を重点的に整備

砂防事業

1 土石流対策、がけ崩れ対策

- 土砂災害警戒区域内の重点対策949箇所のうち、**地域の医療・福祉や避難活動の拠点**となる61箇所の対策を令和11年度までに完了

2 地すべり対策

- 地すべり防止区域130箇所のうち、現在対策中の12箇所を令和11年度までに完了（=全箇所に対策完了）

港湾事業

1 港湾整備

i) 浜田港

- 今後10年間は福井地区を優先し、防波堤や岸壁の整備など、港湾機能を拡充

ii) 浜田港以外の本土の港湾

- 河下港**、江津港、益田港、久手港の4港を重点整備

iii) 離島港湾

- 西郷港、別府港、**来居港**の3港を重点整備

2 海岸整備

- 三隅港や益田港などの海岸で、養浜等の侵食対策を実施

3 老朽化対策、維持

- 長寿命化計画に基づき、緊急度の高い施設から順次対策

空港事業

1 航空灯火のLED化

- 県内3空港とも、令和10年度までに、全てLED化

2 滑走路・誘導路の舗装改良

- 県内3空港とも、令和10年度までに、全面的に舗装改良

3 滑走路端安全区域（RESA）の整備

- 県内3空港とも、国の新基準に適合するよう、令和8年度までに着手

4 空港ターミナルビルの機能強化

i) 出雲縁結び空港

- 国際線搭乗待合室トイレやCIQ施設拡張などの整備を、令和2年度に実施（済み）
- 将来的なターミナルビルの拡張等について検討

ii) 隠岐世界ジオパーク空港

- 令和3年度中に、搭乗待合室やトイレ、手荷物受取所の拡張と航空機へ快適に乗降可能な施設を整備（済み）

5 保安施設の更新（出雲縁結び空港）

- 空港内侵入防止のための施設を、令和8年度までに更新

県政の指針 **島根創生計画**（令和2年3月策定）に基づくプロジェクトを、**着実に**進めています！

今後10年間の公共土木事業の実施方針

① 道路事業（骨格幹線道路）

- ✓ 骨格幹線道路のうち県管理区間（約690km）について、令和11年度までに、未改良区間（約23km）を解消
- ✓ 整備目標（骨格幹線道路の整備率）
【R1】96% ⇒ 【R6】97% ⇒ 【R11】100%

◆ R6取組ポイント ◆

- 15路線29区間を整備
- 骨格幹線道路に道路建設予算の29%を配分（配分額：約48億円）

令和6年度の整備路線

市町村	路線	工区
松江市	431号	松江北道路
松江市	431号	万原
松江市	431号	森山西
松江市	432号	東岩坂バイパス
松江市	松江木次線	東忌部
浜田市	186号	小国1
浜田市	186号	小国2
出雲市	出雲三刀屋線	上塩冶
出雲市	出雲三刀屋線	上島1
益田市	488号	澄川
益田市	488号	広瀬
益田市	488号	落合
大田市	大田桜江線	行恒
安来市	432号	菅原広瀬B P 2
安来市	安来インター線	島田
安来市	安来木次線	切川2
江津市	261号	桜江2
江津市	261号	八神
奥出雲町	432号	郡
奥出雲町	314号	細越
川本町～美郷町	川本波多線	多田～港
川本町	川本波多線	川本B P
川本町	261号	因原
川本町	261号	久料谷
美郷町	375号	粕淵
美郷町	375号	湯抱2
邑南町	261号	白谷
津和野町	柿木津和野(停)線	笹山2
津和野町	187号	左鐙

県内の幹線道路図



今後10年間の公共土木事業の実施方針 ① 道路事業（骨格幹線道路）

一般国道431号 ^{まつえきた} 松江北道路

全体事業費	26,124	百万円
R5補正予算額	322	百万円
R6当初予算額	465	百万円

【事業概要】

- 松江北道路は、境港出雲道路（高規格道路）の一部を構成するとともに、平成25年3月に開通した松江だんだん道路と一体的に、松江市街地の外環状道路ネットワークを形成する道路です（延長10.5km）。
- 今年度は、調査設計・用地買収・埋蔵文化財調査を進めます。

事業進捗率（R5末時点） **6.1%**

【事業箇所】

にしまさだちょう
松江市西浜佐陀町
しもひがしかわつちょう
～松江市下東川津町



【R6事業内容】

- 調査設計、用地買収
- 埋蔵文化財調査

【期待される整備効果】

- 市街地の外環状道路を形成することにより、**松江市街地の渋滞緩和**が期待されます。
- 市街地の浸水想定区域を回避することにより、**災害時の代替路が確保**されます。
- 沿線地域から山陰道へのアクセス向上により、**居住性の向上や観光振興への寄与**が期待されます。

一般国道488号 すみかわ 澄川工区

全体事業費	5,693百万円
R5補正予算額	60百万円
R6当初予算額	250百万円

事業進捗率（R5末時点） **21.5%**

【事業概要】

- ・一般国道488号は、益田市中心部と匹見地区を結ぶ主要な幹線道路であるとともに、合併後の益田市中心部、匹見地区、美都地区を結ぶ環状道路「グリーンライン90」の一部を形成しています。
- ・事業区間の現道は、匹見川と急峻な斜面の間に位置しており、幅員が狭く、車両のすれ違いが困難なことから、この状況を解消するため整備しています。**今年度は、測量設計・道路改良工を進めます。**

【事業箇所】

ひきみちょう すみかわ
益田市匹見町澄川



【R6事業内容】

- ・測量設計
- ・道路改良工

【期待される整備効果】

- ・安全で円滑な道路交通が確保され、通勤、通学、通院等沿線住民の利便性の向上ほか、合併後の新市の一体感の醸成に寄与することが期待されます。
- ・災害時の物資輸送路及び避難路の確保により、第2次緊急輸送道路としての機能強化が図られます。

一般国道432号 こおり 郡工区

全体事業費	2,389百万円
R5補正予算額	-
R6当初予算額	31百万円

【事業概要】

- ・ 国道432号は、松江圏（松江・安来地域）と仁多郡を結ぶ主要な幹線道路です。
- ・ 当工区は、管内の国道で唯一の未改良区間で狭隘なため、スムーズな車両のすれ違いや歩行者の安全確保ができないことから、この状況を解消するため整備しています。
- ・ **今年度は、落石対策工・舗装工を進めます。**

事業進捗率（R5末時点） 88.9%

【事業箇所】

みなり
奥出雲町三成
こおり
～奥出雲町郡



写真①：亀嵩側 完成



写真②：起点側(三成) 拡幅のため山切り状況

【R6事業内容】

- ・ 落石対策工
- ・ 舗装工

【期待される整備効果】

- ・ 未改良区間の整備により円滑な交通が可能となるとともに松江市、安来市とのアクセス強化が図られます。
- ・ また、歩道を整備することで歩行者の安全を確保することができます。

① 道路事業（交通安全事業）

✓ 小中学生の通学路や交通事故の危険性が高い箇所について
令和11年度までに、すべて（64工区）対策完了

✓ 整備目標（要対策工区※推移）

【R2】64工区 ⇒ 【R6】23工区 ⇒ 【R11】0工区

※R2以降に発生する要対策工区除く

◆ R6取組ポイント ◆

- 24路線30区間を整備
- 交通安全要対策工区に道路建設予算の14%を配分（配分額：約23億円）

令和6年度の整備箇所

市町村	路線	工区
松江市	432号	大庭バイパス3
松江市	431号	母衣町～南田町
松江市	八重垣神社竹矢線	大庭
松江市	431号	大野2
浜田市	186号	上来原2【新規】
出雲市	出雲平田線	西代
出雲市	431号	国富
出雲市	大社立久恵線	松寄下【新規】
出雲市	外園高松線	下横
出雲市	湖陵掛合線	三部
出雲市	鱒淵寺線	奥宇賀1
大田市	波根久手線	久手
大田市	375号	川合
大田市	和江港大田市停車場線	鳥井～長久
大田市	池田久手停車場線	小屋原
安来市	米子広瀬線	安田2
安来市	安来伯太日南線	吉岡
雲南市	出雲奥出雲線	坂本
奥出雲町	玉湯吾妻山線	大馬木
奥出雲町	432号	久比須
奥出雲町	314号	湯の原
奥出雲町	玉湯吾妻山線	三成1
川本町	温泉津川本線	川下
美郷町	375号	長藤
邑南町	甲田作木線	西之原
吉賀町	187号	大野原
吉賀町	187号	幸地
海士町	海士島線	福井2
隠岐の島町	485号	下西2
隠岐の島町	西郷布施線	東郷

対策事例

○歩道の整備



一般国道431号（出雲市）

○歩車共存道の整備



（主）玉湯吾妻山線（奥出雲町）



一般国道375号（美郷町）



（一）池田中町線（隠岐の島町）

一般国道431号 くにどみ 国富工区

全体事業費	2,158百万円
R5補正予算額	-
R6当初予算額	250百万円

【事業概要】

- ・ 国道431号は、島根県出雲市から鳥取県米子市に至る一般国道です。
- ・ 国富工区は、東林木バイパスの東、美談神社からJ A国富支店付近の交差点までの歩道整備および車道・路肩拡幅を行います。
- ・ 今年度は、道路改良工・河川付替工・舗装工を進めます。

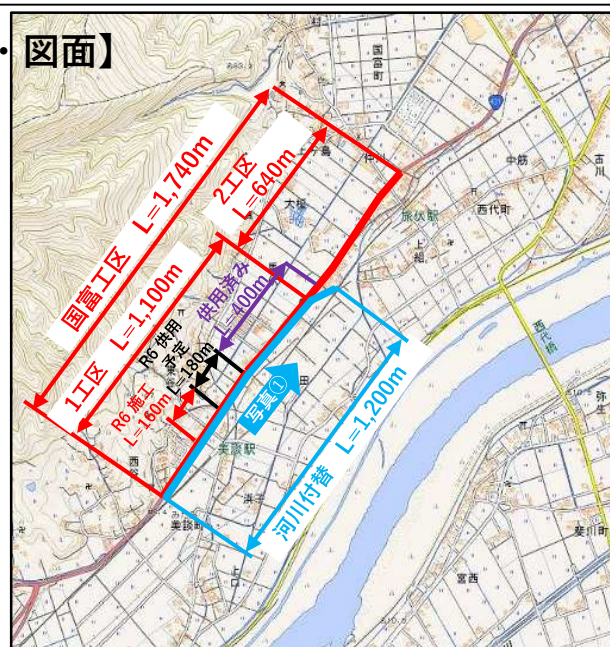
事業進捗率（R5末時点） **61.8%**

【事業箇所】

出雲市くにどみ国富町地内
～出雲市みだみ美談町地内



【位置図・図面】



【写真：着手前】



【写真①】



【R6事業内容】

- ・ 道路改良工
- ・ 河川付替工
- ・ 舗装工

【期待される整備効果】

- ・ 歩道整備に併せて正規の車道幅員に拡幅します。
- ・ 車両の円滑な走行と歩行者の安全が格段に向上します。

一般国道375号 ながとう 長藤工区

全体事業費	185百万円
R5補正予算額	-
R6当初予算額	15百万円

事業進捗率（R5末時点） **91.9%**

【事業概要】

- ・一般国道375号は広島県呉市を起点とし、邑智郡美郷町を經由して大田市に至る幹線道路であり、山陰と山陽を結ぶ重要な路線であるとともに、地域住民の日常を支える道路です。
- ・事業区間は、近隣の中学校の通学路であるが、歩道の整備がされていないため、通学時に車両と輻輳し、著しく危険な状況であることから、**歩道を整備**しています。今年度は、**歩道の設置工事**を進めます。

【事業箇所】

ながとう
邑智郡美郷町長藤



【R6事業内容】

- ・歩道設置工事



【期待される整備効果】

- ・歩道の整備により、**通学路の安全を確保する**とともに、円滑な自動車交通を確保することができます。

① 道路事業（老朽化対策）

✓整備目標（H26～30年度の点検で健全性Ⅲとされた施設の対策完了率）

【R1】27% ⇒ 【R5】85% ⇒ 【R8】100%

✓橋梁については、令和8年度から現在の事後保全型から予防保全型対応に移行し、中長期的なトータルコスト縮減を目標

◆ R6取組ポイント ◆

- ・橋梁 45施設、トンネル31施設、道路附属物等 4施設で、老朽化対策を実施
- ・老朽化対策に道路維持予算の15%を配分（配分額：約24億円） R5補正含む

県管理道路施設の状況

	施設数	要対策箇所数	対策完了 (R5末時点)	R6対策完了 見込箇所数
橋 梁	2,744	214	172	14
トンネル	194	75	75	0
道路附属物等	94	28	24	3
計	3,032	317	271	17

※なお、R5末に完了しない46施設はR8末までに対策完了予定

早期に措置すべき施設の例



対策施設数（令和6年度）

県土整備 事務所	橋梁	トンネル	道路 附属物等	計
松 江	11	4	—	15
雲 南	10	10	3	23
出 雲	7	—	—	7
県 央	6	—	—	6
浜 田	6	7	1	14
益 田	5	5	—	10
隠 岐	—	5	—	5
計	45	31	4	80



① 道路事業（橋梁耐震）

- ✓ 緊急輸送道路上にある、平成7年度以前の耐震基準で建設された、長さ15m以上かつ複数径間の橋梁の耐震化を図る（221橋）
- ✓ 松江市街地の新大橋と鍛冶橋は街路事業により架替え
- ✓ 整備目標（緊急輸送道路上にある221橋の対策完了率）
【R1】 67% ⇒ 【R6】 85% ⇒ 【R11】 100%

◆ R6取組ポイント ◆

- 緊急輸送道路上にある24橋で、橋梁耐震対策を実施
- 橋梁耐震対策に道路維持予算の10%を配分（配分額：約16億円） R5補正含む

対策橋梁数（緊急輸送道路上）

県土整備事務所	対象橋梁数	対策完了 (R5末時点)	R6対策橋梁数 (設計等含む)
松江	33	25	3
雲南	46	35	7
出雲	30	20	4
県央	28	23	1
浜田	22	20	2
益田	46	37	6
隠岐	16	12	1
計	221	172	24

橋梁耐震対策の施工例

既設橋梁対応



水平力分担構造



落橋防止構造

架替えによる対応

(都)松江熊野線
鍛冶橋の架替え
(街路事業)



完成イメージ図



① 道路事業（落石対策）

- ✓ 第1段階として、落石頻度の高い30cm未満の石を対象とした対策（2,688箇所）を、令和2年度から概ね15年間で実施
 - ⇒ 緊急輸送道路にある783箇所を優先的に対策
- ✓ その後、第2段階として、発生頻度が稀な石を対象
- ✓ 整備目標（緊急輸送道路にある783箇所の第1段階の対策完了率）
 - 【R1】 6% ⇒ 【R6】 49% ⇒ 【R11】 100%

◆ R6取組ポイント ◆

- ・ 緊急輸送道路にある120箇所で、落石対策を実施
- ・ 落石対策に道路維持予算の19%を配分（配分額：約30億円） R5補正含む

対策箇所数（緊急輸送道路上・第1段階）

県土整備事務所	要対策箇所数	対策完了 (R5末時点)	R6対策箇所数 (設計等含む)
松江	70	22	13
雲南	93	25	7
出雲	25	7	21
県央	178	76	10
浜田	122	76	28
益田	187	49	29
隠岐	108	23	12
計	783	278	120

落石対策の施工例

第1段階施工



落石防護網



落石防護柵



落石防護網



簡易防護柵

第2段階施工



ロープ伏工



ロックキーパー

今後10年間の公共土木事業の実施方針

② 河川事業

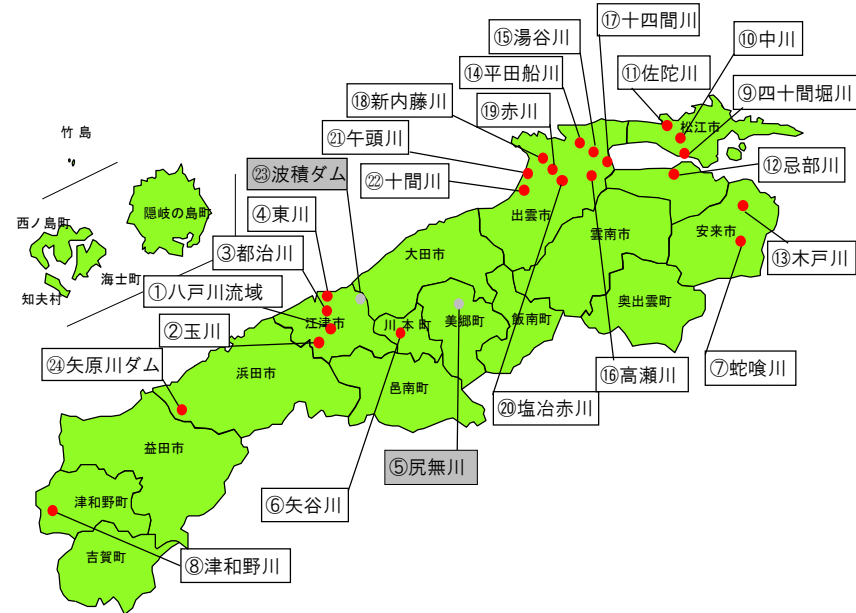
- ✓ 近年発生した災害への対応と県東部市街地の浸水対策に、河川改修系予算の8割を投入
- ✓ 整備目標
 - 近年発生した災害への対応
 - 【R6まで】 2河川完成 ⇒ 【R11まで】 9河川完成
 - 東部市街地の浸水対策（保全される人家の割合）
 - 【R2】 43% ⇒ 【R7】 50% ⇒ 【R12】 56%
- ✓ 波積ダム（R6年度運用開始）、矢原川ダム（R10年代中期完成）の建設を推進

◆ R6取組ポイント ◆

- 21河川、1ダムで整備を実施
- H30.7月、R2.7月、R3.8月と立て続けに被災した矢谷川、八戸川流域など江の川支川を最優先で整備
- 中川、湯谷川など整備の遅れている県東部市街地の浸水対策を重点的に実施
- 河川監視カメラ・水位計の増設

令和6年度の整備箇所

	河川名等	施工位置	事業概要	備考
近年災害対応	① 八戸川流域 (八戸川、秋の滝川、宮の谷川、日和川)	江津市桜江町	築堤、樋門本体工	令和11年度までに完成
	② 玉川	江津市桜江町	護岸工	令和11年度までに完成
	③ 都治川	江津市松川町	詳細設計、用地測量	
	④ 東川	江津市浅利町	護岸工	令和6年度完成予定
	⑤ 尻無川	邑智郡美郷町	護岸工	令和4年度完成
	⑥ 矢谷川	邑智郡川本町	用地買収、物件移転	令和11年度までに完成
	⑦ 蛇喰川	安来市伯太町	詳細設計	令和11年度までに完成
	⑧ 津和野川	鹿足郡津和野町	河道掘削、護岸工	
東部市街地浸水対策	⑨ 四十間堀川	松江市中原町	放水路整備	
	⑩ 中川	松江市春日町	橋梁工、護岸工、用地買収	
	⑪ 佐陀川	松江市鹿島町	護岸工	
	⑫ 忌部川	松江市乃白町	護岸工	令和9年度までに完成
	⑬ 木戸川	安来市安来町	護岸工	
	⑭ 平田船川	出雲市西郷町	河道掘削、物件補償	
	⑮ 湯谷川	出雲市平田町	河道掘削、橋梁工、用地補償	
	⑯ 高瀬川	出雲市斐川町	護岸工	
	⑰ 十四間川	出雲市斐川町	護岸工	
	⑱ 新内藤川	出雲市松寄下町	河道掘削	
	⑲ 赤川	出雲市松寄下町	河道掘削	令和7年度までに完成
	⑳ 塩冶赤川	出雲市古志町	河道掘削	令和7年度までに完成
ダム	㉓ 波積ダム	江津市波積町	ダム本体工、管理施設整備	令和6年度運用開始
	㉔ 矢原川ダム	浜田市三隅町	用地補償、付替道路工	令和10年代中期完成



ごうのかわ やだにがわ
江の川水系 矢谷川 (土地利用一体型水防災事業)

全体事業費	3,393百万円
R5補正予算額	38百万円
R6当初予算額	500百万円

事業進捗率 (R5末時点) **20%**

【事業概要】

- ・ 矢谷川は、一級河川 江の川下流域に位置する支川です。矢谷川下流の谷地区は土地が低く、江の川のバックウォーター現象で、平成30年7月豪雨、令和2年7月豪雨と立て続けに浸水被害が発生しています。
- ・ 今年度は、引き続き用地買収や建物移転、工事用の仮設橋設置工事を行います。

【事業箇所】

川本町地内



【R6事業内容】

- ・ 用地買収 一式
- ・ 建物移転 一式
- ・ 仮設橋 一式

宅地嵩上げ完成イメージパース (川本町より提供)



仮設堤防の設置状況(令和4年8月)

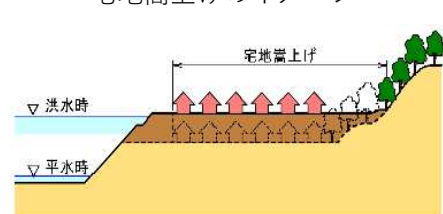


【期待される整備効果】

- ・ 江の川の計画高水位まで宅地嵩上げを実施します。
- ・ 昭和47年7月洪水及び近年の洪水時における江の川水位に対して、家屋浸水被害の発生を防ぎます。



宅地嵩上げのイメージ



ひいかわ ゆやがわ
斐伊川水系 湯谷川 (河川改修事業)

全体事業費	5,080百万円
R5補正予算額	60百万円
R6当初予算額	652百万円

【事業概要】

事業進捗率 (R5末時点) 50%

- ・湯谷川は、一級河川 斐伊川水系平田船川の支川です。出雲市内の住宅密集地（旧平田市街）を流れており、平成9年7月の洪水により、浸水面積400ha、床上浸水6戸、床下浸水156戸という甚大な被害が発生しました。
- ・昨年度は、湯谷橋の架橋、京塚橋の迂回路整備を行いました。
- ・今年度は、引き続き用地買収・建物移転や京塚橋の架替工事を推進します。

【事業箇所】

ひらたちょう
 出雲市平田町地内



出典：国土地理院撮影の空中写真（2004年撮影）

【R6事業内容】

- ・用地買収 一式
- ・下部工 一式
- ・河道掘削 L=100m

【期待される整備効果】

- ・平成9年7月と同程度の降雨による洪水に対して、河川改修（河道掘削）により、**家屋浸水被害の発生を防ぎます。**



みすみがわ やばらがわ やばらがわ
三隅川水系 矢原川 (矢原川ダム建設事業)

全体事業費	24,000	百万円
R5 補正予算額	300	百万円
R6 当初予算額	580	百万円

【事業概要】

事業進捗率 (R5末時点) 30%

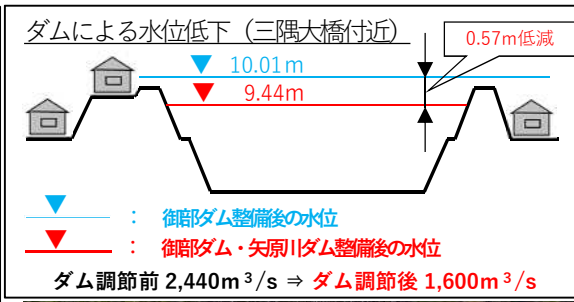
- ・ 矢原川は、二級河川 三隅川の中流域に位置する支川です。三隅川水系では昭和58年7月の梅雨前線豪雨により、人的被害66人、全壊・流出・半壊家屋が計1,054戸、浸水家屋1,026戸にのぼるなど、三隅町は壊滅的な被害を受けました。
- ・ 三隅川沿川の浸水被害防止を図るため、**矢原川ダムの建設**に取り組んでいます。
- ・ **今年度は、ダム本体設計に係る地質調査・解析および付替道路工事等を実施**します。

【事業箇所】

みすみちょう やばら
 浜田市三隅町矢原 他



矢原川ダム完成イメージ



【R6 事業内容】

- ・ 環境調査
- ・ 地質調査・解析
- ・ 付替県道・市道工事

【期待される整備効果】

- ・ 三隅川本川上流に建設済みの御部ダム、支川の矢原川に建設する矢原川ダムの2つのダムによる洪水調節と、下流の河川改修 (既に完了) により、**昭和58年7月豪雨と同規模 (100年に1回程度の規模の降雨) の洪水による浸水被害を解消**します。



河川監視カメラ・水位計の増設

全体事業費	250百万円
R5補正予算額	27百万円

事業進捗率 (R5末時点) 89%

【事業概要】

- 令和3年7月～8月の大雨により、県内の広範囲において河川が氾濫したことから、ソフト対策の拡充を図るため、令和4年度から、河川監視カメラや水位計の増設を進めています。
- 今年度は、出雲市内において、河川監視カメラ5基を追加設置します。
- これにより、県全体で、河川監視カメラ73基、水位計106基の配備が整います。

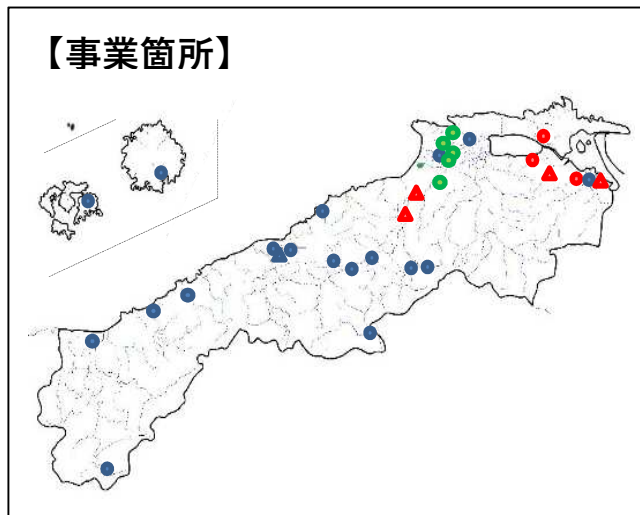
【R6事業内容】

- カメラ設置 5基



比津川カメラ画像(R3.7.12)

【事業箇所】



年度	種別	河川名
R4	水位計 ▲	都治川 (江津市)
	カメラ ●	吉田川 (安来市)、神戸川 (飯南町)、頓原川 (飯南町)、湯谷川 (出雲市)、赤川 (出雲市)、祖式川 (川本町)、河木谷川 (美郷町)、南谷川 (美郷町)、出羽川 (邑南町)、潮川 (大田市)、都治川 (江津市)、周布川 (浜田市)、三隅川 (浜田市)、南田川 (益田市)、鹿足河内川 (吉賀町)、八尾川 (隠岐の島町)、諏訪川 (海士町)、波積ダム (江津市)
R5	水位計 ▲	意宇川 (松江市)、神戸川 (出雲市)、神戸川 (出雲市)、木戸川 (安来市)
	カメラ ●	比津川 (松江市)、久白川 (安来市)、玉湯川 (松江市)
R6	カメラ ●	新内藤川 (出雲市)、唐川川 (出雲市)、堀川 (出雲市)、塩治赤川 (出雲市)、小野川 (出雲市)

【期待される整備効果】

- 河川のリアルタイムの映像情報や水位情報を県民の皆様提供し、災害時における住民への**情報提供を充実**させます。

③ 砂防事業

- ✓ 土石流対策・がけ崩れ対策は、令和11年度までに、医療・福祉拠点と避難活動拠点の61箇所で対策を完了
整備目標（土砂災害警戒区域の医療・福祉と避難活動拠点の整備率）
【R2】61% ⇒ 【R6】73% ⇒ 【R11】100%
- ✓ 地すべり対策は、令和11年度までに、現在対策中の12箇所を完成
整備目標（地すべり防止区域130箇所の整備率）
【R2】91% ⇒ 【R6】98% ⇒ 【R11】100%

◆ R6取組ポイント ◆

- ・ **土石流対策 19箇所、がけ崩れ対策 4箇所、地すべり対策 8箇所**で、重点的に対策実施
- ・ 重点対策箇所に**砂防予算の 30%**を配分
（配分額：約6.6億円）
- ・ **完了予定 7箇所**
（避難活動拠点 6箇所、地すべり対策 1箇所）

重点対策箇所数

	重点対策箇所数	対策完了 (R5末時点)	R6対策箇所数
土石流対策	44	8	19
がけ崩れ対策	17	6	4
地すべり対策	12	1	8
計	73	15	31

令和6年度の重点対策箇所数

県土整備事務所	土石流対策	がけ崩れ対策	地すべり対策	計
松江	1	1	-	2
雲南	4	-	-	4
出雲	5	-	5	10
県央	-	-	-	-
浜田	3	-	1	4
益田	5	2	1	8
隠岐	1	1	1	3
計	19	4	8	31

対策の施工例

土石流対策



砂防堰堤工



渓流保全工

がけ崩れ対策



擁壁工



法枠工

地すべり対策



アンカー工



杭工

全体事業費	369百万円
R5補正予算額	10百万円
R6当初予算額	10百万円

医療・福祉拠点の保全 こみにたがわ (小三谷川まちづくり連携砂防等事業)

事業進捗率 (R5末時点) 12%

【事業概要】

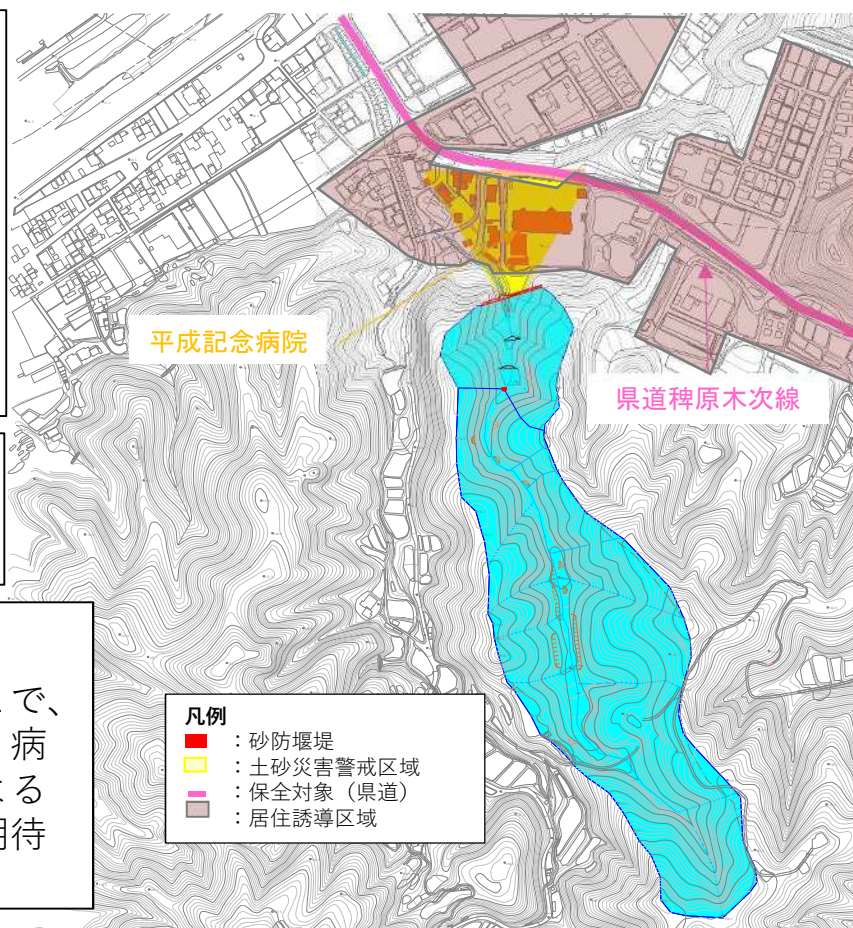
- ・小三谷川（雲南市三刀屋町）は、山腹の浸食や荒廃が進んでおり、土砂災害警戒区域内には、人家12戸、平成記念病院、県道稗原木次線、市道等があります。また、保全される地域が雲南市において居住誘導区域に指定されており、防災に配慮したまちづくりを促します。
- ・このため、砂防堰堤1基を整備する予定であり、今年度は用地補償を行います。

【事業箇所】
みとやちょう
 雲南市三刀屋町

小三谷川

【R6事業内容】
 ・用地補償

【期待される整備効果】
 ・砂防堰堤を整備することで、居住誘導区域における人家、病院、県道、市道を土石流による被害から保全されることが期待されます。



全体事業費	275百万円
R5補正予算額	10百万円
R6当初予算額	30百万円

避難活動拠点の保全 かばたに (栲谷地区急傾斜地崩壊対策事業)

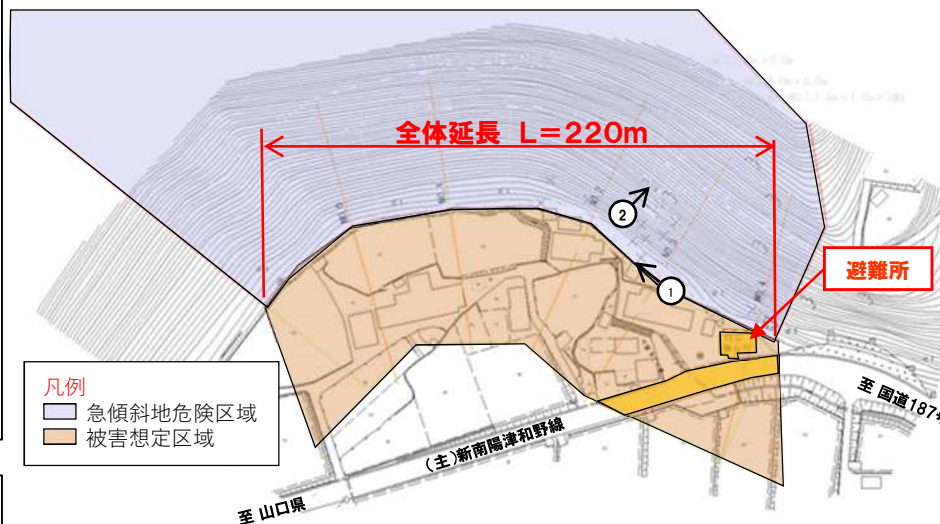
事業進捗率 (R5末時点) **25%**

【事業概要】

- ・栲谷地区 (吉賀町栲谷) は、がけ高約56~125m、勾配30~40° の急傾斜地で、土砂災害警戒区域内には、栲谷集会所 (避難所) や主要地方道新南陽津和野線、人家等があります。
- ・このため、**急傾斜地崩壊防止施設を整備する予定であり、今年度は工事に着手します。**

【事業箇所】

吉賀町 かばたに 栲谷



【R6事業内容】

- ・工事 (擁壁工)

【期待される整備効果】

- ・避難活動拠点、県道、人家等の保全により、地域の安全・安心度の向上が期待されます。

全体写真



④ 港湾事業

- ✓ 港湾は、浜田港と重点整備7港湾で優先的に施設整備整備目標（整備完了する港湾の施設数）
【R2～R6】 4港湾4施設、【R7～R11】 6港湾6施設
- ✓ 港湾海岸は、侵食対策中の施設を優先的に整備整備目標（侵食対策完了する港湾海岸の施設数）
【R2～R6】 1海岸1施設、【R7～R11】 1海岸1施設

◆ R6取組ポイント ◆

- 港湾施設整備は、
浜田港：臨港道路の工事推進
河下港：岸壁の工事推進
来居港：防波堤及び臨港道路の工事推進
 その他：西郷港など5港で施設整備を推進
- 海岸侵食対策は、三隅港海岸で実施

今後10年間で重点整備を進める施設

港名	地区名	施設名		R6 事業概要	備考	
浜田港	福井・長浜	臨港道路 (福井・長浜線)	900m	工事推進	令和11年度迄に完成	
	福井	上屋(荷捌き倉庫)	1棟	—	令和4年度完成	
重点整備港湾	河下港	沖防波堤	310m	—	令和4年度完成	
		岸壁(水深7.5m)	140m	工事推進	令和11年度迄に完成	
	久手港	久手	防砂堤	110m	工事推進	令和11年度迄に完成
	江津港	郷田	導流堤	830m	工事推進	令和11年度迄に完成
	益田港	高津	防波堤	807m	工事推進	—
	西郷港	小田	岸壁(水深5.5m) 埠頭用地	160m 0.4ha	工事推進	令和11年度迄に完成
	別府港	十景	岸壁(水深5.5m) 埠頭用地	110m 0.3ha	工事推進	令和6年度完成
	来居港	来居	防波堤改良	130m	工事推進	令和6年度完成
臨港道路耐震化 (知夫里大橋)			180m	工事推進	令和11年度迄に完成	
港湾海岸	三隅港海岸	離岸堤(潜堤) 養浜	2基 16,000㎡	工事推進	令和11年度迄に完成※	
	益田港海岸	高津	養浜	85,000㎡	—	令和4年度完成

※ 今年度、再評価委員会に諮る予定

港湾の分類



浜田港 港湾機能の拡充（上屋・臨港道路整備事業）

全体事業費	2,026百万円
R5補正予算額	—
R6当初予算額	200百万円

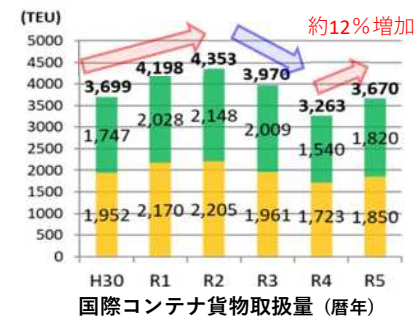
【事業概要】

事業進捗率（R5末時点） **67%**

- ・ 浜田港は、昭和32年に重要港湾に指定され、主に木材取扱などで発展してきた**県内唯一の国際貿易港**です。
- ・ 近年、国際コンテナ貨物の取扱量が増加傾向にあること及び福井地区と長浜地区を結ぶ現道の一部に大型車交通規制区間があることから、新たな施設整備により**港湾機能を拡充**します。

【事業箇所】

あつたちょう
浜田市熱田町



【R6事業内容】

- ・ 臨港道路工事

【期待される整備効果】

- ・ 上屋（荷捌き倉庫）の増設により、慢性的な荷捌きスペースの不足が解消され、**浜田港の更なる利用拡大とコンテナ貨物取扱量の増加**が期待されます。
- ・ 臨港道路の整備により、**福井・長浜両地区の連携が強化**され、**貨物輸送の効率化**が期待されます。

河下港 港湾機能の拡充（沖防波堤・岸壁整備事業）

全体事業費	8,610百万円
R5補正予算額	—
R6当初予算額	130百万円

【事業概要】

- 河下港は、平成12年に「特定地域振興重要港湾」に位置付けられ、県東部地区における主要な物流拠点港として発展してきました。
- 荒天時でも安全な荷役作業ができるように沖防波堤を整備すること及び、増加する貨物に対応できるように新たな岸壁を整備することにより、**港湾機能を拡充**します。

事業進捗率（R5末時点） **71%**

【事業箇所】

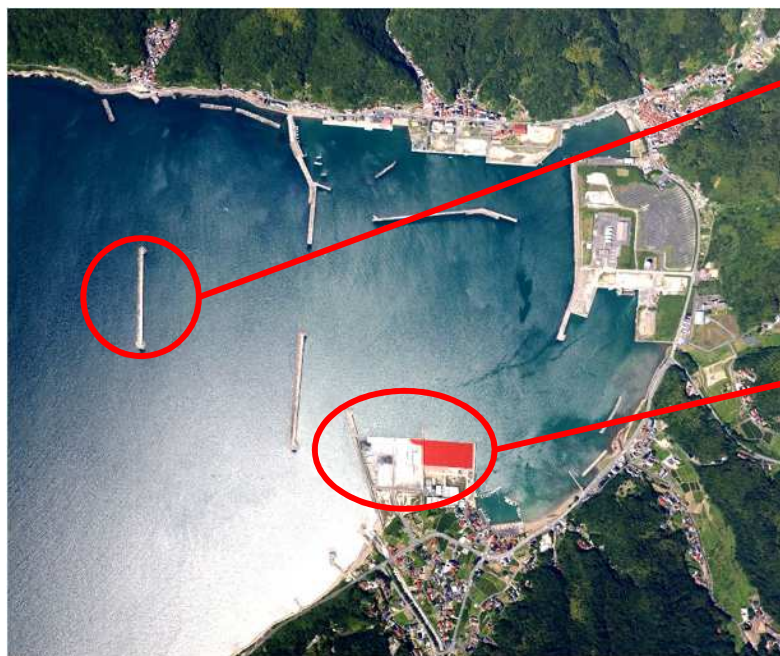
出雲市河下町



河下港

【R6事業内容】

- 本體工（ケーソン製作）



【期待される整備効果】

- 防波堤整備により**港内静穏度が向上**することで、年間を通じた荷役作業が可能となり、**安定した物流ネットワークの構築**が期待されます。
- 岸壁の整備により、船舶の大型化に対応することが可能となり、**貨物輸送の効率化**が期待されます。

来居港 港湾機能の拡充（防波堤・臨港道路改良事業）

全体事業費	1,224百万円
R5補正予算額	—
R6当初予算額	200百万円

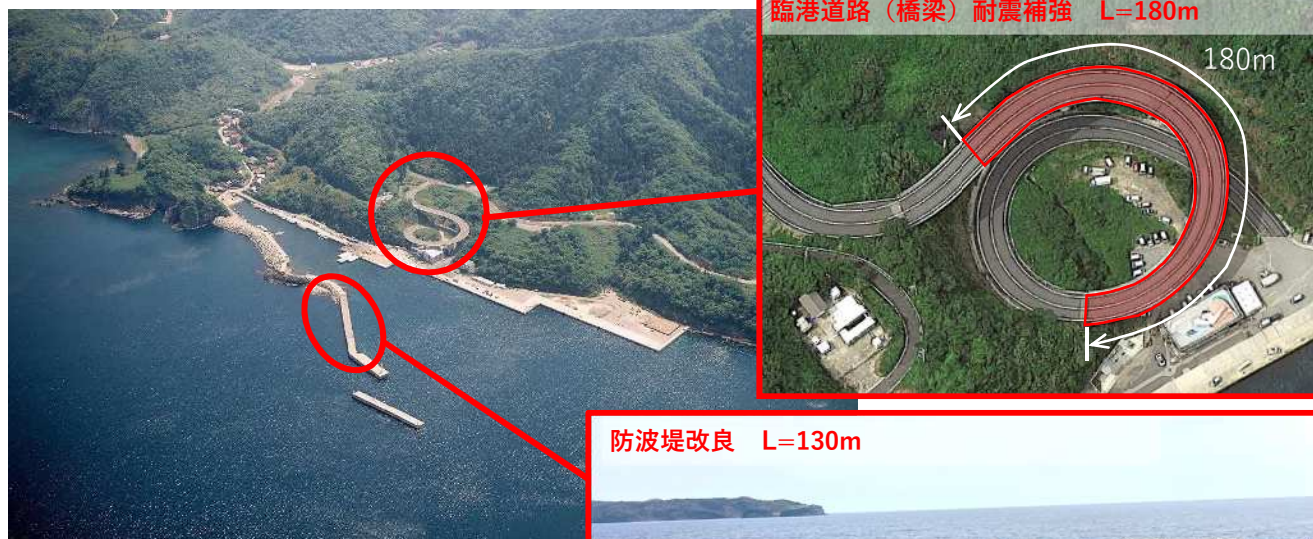
【事業概要】

事業進捗率（R5末時点） **61%**

- ・ 来居港は、景勝地アカハゲ山や赤壁を有する知夫里島に位置し、住民の生活や観光を支えるフェリー、貨物船が寄港する知夫村の重要な玄関口です。
- ・ 港内静穏度が悪くフェリーの抜港が発生していること及び緊急輸送道路に指定されている臨港道路の橋梁が耐震化されていないことから、施設を改良することにより**港湾機能を拡充**します。

【事業箇所】

知夫村来居



【R6事業内容】

- ・ 防波堤改良工事
- ・ 橋梁耐震補強工事



【期待される整備効果】

- ・ 防波堤改良により**港内静穏度が向上**することで、フェリーの抜港数が減少し、**住民の安全安心の確保・来島者の利便性向上**が期待されます。
- ・ 臨港道路（知夫里大橋）の耐震化により、**緊急輸送道路の安全性向上**が期待されます。

⑤ 空港事業

- ✓ 滑走路・誘導路の舗装および航空灯火を、令和10年度までに、県内3空港とも全面的に改良・更新
- ✓ 滑走路端安全区域を、国の新基準（平成25年4月改訂）に適合するよう、県内3空港とも令和8年度末までに着手
- ✓ 出雲縁結び空港および隠岐世界ジオパーク空港のターミナルビルの拡張や機能強化を実施

◆ R6取組ポイント ◆

- ・ 萩・石見空港の電源設備更新工事に着手
- ・ 出雲縁結び空港の場周柵の更新、航空灯火更新の実設計の実施
- ・ 隠岐世界ジオパーク空港の滑走路端安全区域の基本設計に着手

舗装改良



航空灯火の更新・LED化



空港ターミナルビルの拡張・機能強化

出雲縁結び空港



滑走路端安全区域整備



隠岐世界ジオパーク空港

隠岐世界ジオパーク空港



県内3空港 (滑走路等の航空灯火のLED化、保安施設の更新、滑走路端安全区域の整備)

全体事業費	20,242百万円
R5補正予算額	—
R6当初予算額	200百万円

【事業概要】

事業進捗率 (R5末時点) 22%

- ・ 出雲縁結び空港は、平成30年度に年間利用客数が100万人を突破したことから、保安対策強化のため場周柵の更新工事を実施します。
- ・ 萩・石見空港は、航空灯火の電球式からLED式への更新工事が完了したため、負荷軽減を考慮した電源設備への更新工事を実施します。
- ・ 隠岐世界ジオパーク空港は、国の新基準に適合するよう滑走路端安全区域の基本設計に着手します。

【事業箇所】 出雲市^{ひかわちょう}斐川町
益田市^{うちだちょう}内田町
隠岐郡^{おきのしまちょう}隠岐の島町



【R6事業内容】

- ・ 航空灯火LED化
- ・ 保安施設更新
- ・ 滑走路端安全区域の整備

【期待される整備効果】

- ・ 空港施設の整備により、**航空機の安全かつ安定的な運航が確保**されます。

大雨災害からの復旧・大雪時における道路の除雪対応

令和3年7月～8月の大雨災害からの復旧

【事業概要】

- 令和3年7月の梅雨前線や8月の台風9号による大雨災害において、**県管理の公共土木施設のうち787箇所が被災しましたが、一日も早く被災地域の方々が安心して暮らせるよう、引き続き災害復旧工事の早期完成に向けて取り組みます。**

災害復旧工事の進捗状況（令和6年4月1日時点）

箇所数	工事着手済 (完成済含む)		完成済		令和6年度末完成予定 (完成済含む)	
	件数	率	件数	率	件数	率
783	779	99%	730	93%	783	100%

※箇所数は、査定時の787箇所から、その後に廃工とした4箇所を除いたもの

公共土木施設被災箇所 787箇所
災害査定決定額 14,905百万円



復旧



大雪時における道路の除雪対応に関する取組

【概要】

- 大雪が予想される際は、市町村などの関係機関と連携して除雪を早めに開始する等の取組を行っています。
- 特に松江市街地における除雪対策強化のため「**除雪開始基準の見直し**」、「**除雪機械の更新および増強（車道用除雪機械：更新4台、新規9台、歩道用除雪機械：新規6台）**」、「**路面状況把握のための道路カメラの増設（19箇所）**」などに取り組んでいます。



早期の除雪出動による円滑な交通の確保

道の駅「おおなん さと邑南の里」みずほ（道の駅「瑞穂」の再整備）

全体事業費	1,138百万円
R5補正予算額	—
R6当初予算額	400百万円

【事業概要】

- ・ 邑南町と連携して、道の駅「邑南の里」の整備を実施します。
- ・ 鳥根県は、道路利用者が利用する休憩施設（トイレ、情報提供施設等）や駐車場（※部分的にロードヒーティング実施）、一般国道261号の左折レーン等の整備を実施します。

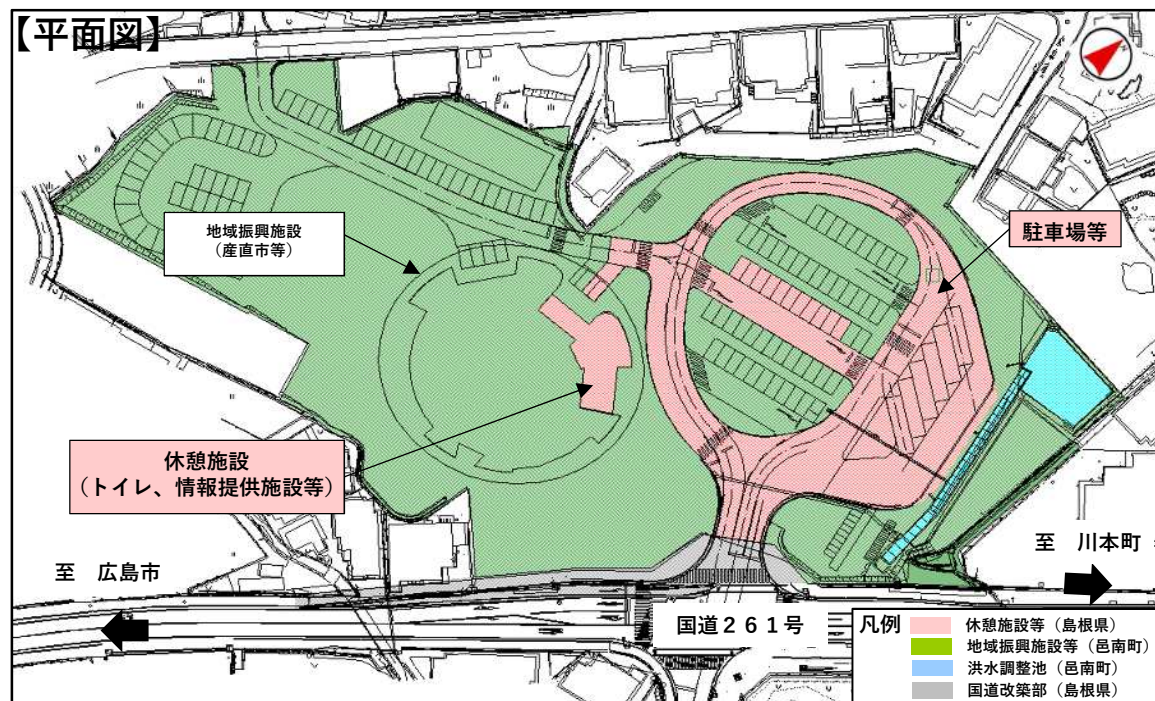
※ロードヒーティング：駐車場などの雪を融かしたり凍結を防ぐため、地中に放熱体を設置し、地面の温度を上げて雪を融かす施設

【事業箇所】

しもたどころ
邑南町下田所地内



【平面図】



【R6事業内容】

- ・ 休憩施設整備
- ・ 駐車場等整備
(ロードヒーティング工事)

【期待される整備効果】

- ・ 駐車場の拡張整備や快適な休憩施設整備により、道路利用者の利便性・安全性の向上を図ります。
- ・ 駐車場等の一部にロードヒーティングを整備することで、大雪時でも利用可能な駐車場等を確保します。

大田市駅前まちづくり さかえまち こうぜんじ ([都]栄町高禅寺線の整備)

全体事業費 1,410百万円
 R5補正予算額 85百万円
 R6当初予算額 127百万円

【事業概要】

事業進捗率 (R5末時点) 10%

- ・都市計画道路栄町高禅寺線は、大田市の市街地環状ルートの一部※に位置付けられ、大田市中心拠点(大田市駅周辺)※と市立病院を連絡し、広域的には中心拠点と観光交流拠点(石見银山)を連携する路線です。
- ・大田市が行う土地区画整理事業と連携し、**栄町高禅寺線1工区(バイパス)を整備**しています。
- ・今年度は、**構造物設計及び用地測量・調査を実施**します。

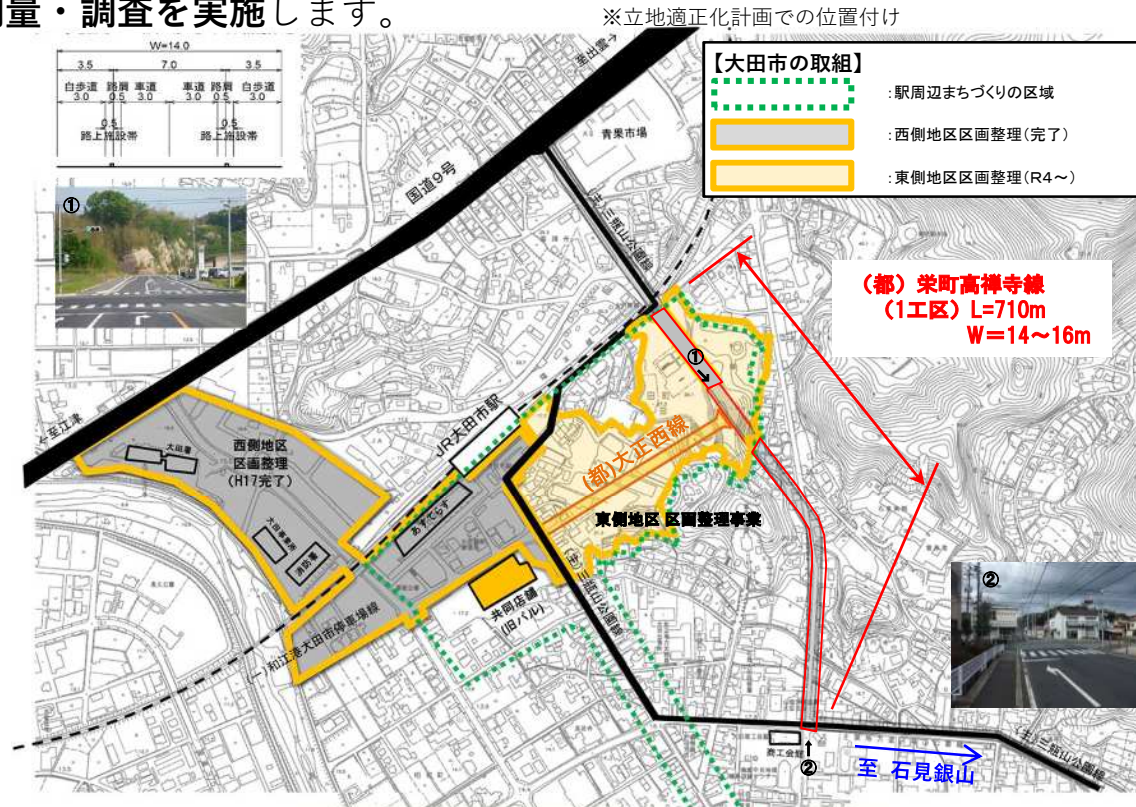
【事業箇所】

おおだちょう
 大田市大田町地内



【R6事業内容】

- ・構造物設計
- ・用地測量・調査



【期待される整備効果】

- ・まちなかと市立病院へのアクセス利便性が向上します。
- ・まちなかと山陰道とのアクセス利便性が向上します。(第3次救急医療機関(出雲市内)・石見银山等)

もとまち ひとまる (都) 元町人麿線 (2期区間) の整備

全体事業費	3,000百万円
R5補正予算額	—
R6予算額	30百万円

【事業概要】

事業進捗率 (R5末時点) **0%**

- ・都市計画道路元町人麿線は、益田市街地の吉田地区と高津地区を結ぶ道路であり、災害時には避難路や緊急輸送道路としての役割を果たす路線です。
- ・今年度は、事業認可に向けて測量・設計を実施します。

【事業箇所】

もとまち
益田市元町
さかえまち
～栄町地内



現道の状況 (2期区間)

【R6事業内容】

- ・測量・調査・設計

【期待される整備効果】

- ・まちなかと萩・石見空港へのアクセス利便性が向上します。
- ・万葉公園 (災害復旧拠点) と益田市役所及び市民学習センター (広域防災拠点) を結ぶ路線が整備されることで防災機能が向上します。
- ・歩道を整備することにより、歩行者の安全が確保されます。

はま やま
県立浜山公園 (国民スポーツ大会に向けた整備)

全体事業費※ 2,838百万円
R5補正予算額 -
R6予算額 455百万円

※詳細設計実施施設
(陸上競技場照明施設、
野球場改修)にか
かる事業費です。

【事業概要】

事業進捗率 (R5末時点) 1%

- ・令和12年に開催される「かみあり国スポ」に向け、**県立浜山公園の整備**を実施します。
- ・今年度は、**陸上競技場メインスタンド改修等の設計、野球場外野拡張、野球場内野スタンド改修**を行います。

【事業箇所】

はまちょう たいしゃちょうきたあらき
出雲市浜町～大社町北荒木地内



浜山公園



【R6事業内容】

- ・陸上競技場メインスタンド改修設計
- ・野球場外野拡張
- ・野球場内野スタンド整備

【期待される整備効果】

- ・陸上競技場や野球場の施設整備をすることで**選手や子どもたちの競技力向上・レベルアップ**に寄与。

県営住宅 松江市淞北台団地再整備事業

しょうほくだい

全体事業費	11,160百万円
R5補正予算額	-
R6当初予算額	602百万円

事業進捗率 (R5末時点) 36%

【事業概要】

- ・昭和40年代半ばに供給した、県内最大の戸数を有する団地の建替整備です。
- ・まちづくりの視点において、周辺地域住民の意見を踏まえ策定した整備計画に基づき、今年度から本格的な整備工事に着手します。

※一部住戸については、先行して別敷地に整備済（松江市大輪団地）

【事業箇所】

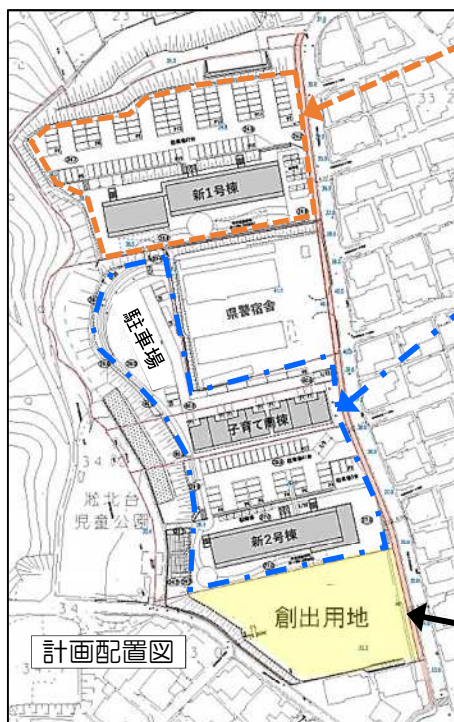
松江市淞北台



淞北台団地

【R6整備内容】

- ・解体工事
- ・新1号棟
建設工事着手



計画配置図

■ 1期事業

【計画概要】

- (1) 既存住棟（3棟）の解体
- (2) 新1号棟建設
（鉄筋コンクリート造、74戸）

【事業期間】

R6年度～R8年度

■ 2期事業

【計画概要】

- (1) 既存住棟（6棟）の解体
- (2) 新2号棟の建設
（鉄筋コンクリート造、36戸）
- (3) 子育て棟の建設
（木造、10戸）

【事業期間】

R9年度～R13年度

■ R14以降

敷地の効率的利用により、創出した用地を活用



大輪団地（非現地建替）
R元年竣工 鉄筋コンクリート造
10階建て 79戸 福祉施設併設



淞北台団地完成イメージ

【期待される整備効果】

- ・通常の建替に併せて、子育て世帯向け住棟を整備することにより、住環境の向上を図るとともに、**多様な世代が共生する活力ある団地内コミュニティの形成と周辺地域の活性化**が期待されます。

しまね長寿・子育て安心住宅リフォーム助成

R 6 予算額
171百万円

【事業概要】

- ・「しまね長寿・子育て安心住宅リフォーム助成事業」は、既存住宅の性能向上を目的としています。
- ・島根創生計画の実現に向け、子育て負担の軽減や安全で安心な子育て環境とするための住まいづくり、高齢者や障がいの方が安全・安心で暮らしやすい住まいとするためのバリアフリー化を支援します。

	子育てに資する改修	バリアフリー改修
対象住宅	子育て世帯が居住 又は近居される住宅	60歳以上の方又は 身体障がい者が 居住される住宅
対象工事	子育て環境向上の ための工事	バリアフリー改修
助成額	上限25万円 （対象工事費の1/4以内の額）	
	次の場合、上限額を加算 （最大助成額：75万円） ① 子育て世帯とその親世帯が同居又は近居される場合【10万円加算】 ② 空き家バンク登録住宅を購入し、改修する場合【10万円加算】 ③ 一定の耐震改修を行う場合【30万円加算】	



【R 5 年度実績】

助成件数 543件
 ・子育てに資する改修 472件
 ・バリアフリー改修 71件

建設産業の担い手確保・育成

R 6 予算額
9 4 百万円

【事業概要】

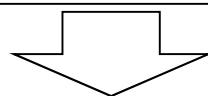
・建設産業は、就業者の減少や高齢化の進行により、人手不足や技術承継が大きな課題となっています。

⇒ 担い手の確保や育成を進めていくため、取組を強化します。

しまねの建設担い手の確保・育成へ向けた取組(アクションプラン)(令和5年3月作成)

取り組むべき課題 = 『新3K』(給与が良い・休暇が取れる・希望が持てる)への転換

- | | | |
|---------|--------------|-------------|
| ① 処遇の改善 | ② 魅力・働き甲斐の向上 | ③ 生産性の向上 |
| ④ 環境づくり | ⑤ 人材の育成 | ⑥ 経営の持続性の確保 |



取組を強化 ※赤字：強化する取組

- ・週休2日工事の普及、労務単価の適切な改訂等
- ・幅広い層に対して、地域の守り手としての建設産業の魅力の発信を推進
- ・事業者・業界団体が小規模で支援施策の活用が進んでいない職種(技能者系等)があることから、補助事業の利用要件の緩和など、支援の方法を改善
- ・生産性の向上のため、ICTの活用やDXの推進を引き続き支援

【ICT建機レンタル経費支援(新設)※等】※P.36参照

- ・生き生きと働き続けられる環境づくりを支援
- ・多様な人材確保のための取組を支援
- ・資格取得支援
- ・取組の成果を高めるため、産学官の連携を強化
- ・イメージマークを制作し、活用 等



インフラ分野のDX（デジタル・トランスフォーメーション）

Oi-Construction、BIM/CIMの取組

建設現場における情報通信技術の活用を促進し、地域建設産業の担い手不足を補い、生産性の向上を図ります。

● ICT活用工事の推進

- ・島根県では、土木部所管の工事（土工、舗装工、舗装修繕工、法面工等）のうち一定規模以上の工事におけるICT活用工事の割合を、約50%まで引き上げることを目指しています。
- ・対象工種は今後も順次拡大を検討します。



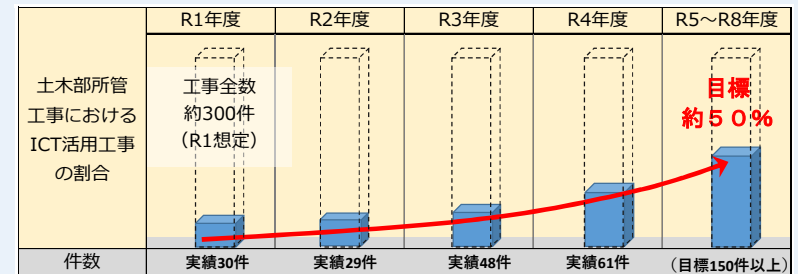
ドローンによる3D測量



3Dデータを利用した機械施工



3D点群データを利用した出来形管理など



● ICT人材育成のための支援

- ・発注者（県市町村職員）対象の研修（R2~：のべ約90名参加）
- ・施工技術者向けの研修・セミナーの開催
（R1~R3 ICT土工研修：のべ約90名参加）（R4 DX体験セミナー：約170名参加）
- ・経営者（未経験企業）向け研修の実施（R5 県内3会場で開催：約70名参加）
（R6 県内3会場で開催予定）



● ICT建機・機器等の導入にかかる補助

- 令和2年度に創設した補助制度です。
- 令和6年度からは新たに建機レンタル経費を補助対象とします。

ICT活用工事加速化事業（旧ICT等建設産業生産性向上事業）

県事業予算	60百万円	年度	補助実績
補助対象者	建設事業者 測量業者・建設コンサルタント	R2	24件
		R3	33件
補助額	補助率1/3以内 上限 50万円（建機以外） 上限100万円（測量機器等） 上限500万円（建機）	R4	58件
		R5	33件

● BIM/CIMの取組状況

- ・令和元年度に試行要領を策定、年数件程度の試行を行っています。
- ・引き続きBIM/CIM推進に向けた課題検証を行っています。

○オンラインによるリモート確認・監督（遠隔臨場システム）

受発注者の移動時間・手待ち時間の縮減、段階確認時期などを容易に設定できることにより、業務効率の向上を図ります。

従来の確認



現場立会および対面式の資料確認



R2年10月：試行開始

R3年 8月：全土木地方機関
に機器配備完了

R3年度：実施件数 55件/年

R5年 1月：実施に係る費用
計上を明確化

R4年度：実施件数 87件/年

R5年度：実施件数103件/年

R6年 4月：協議・打合せのみ
の利用も可とした

⇒研修等を通じて更なる利用
促進を図ります

リモート確認



モバイル端末等による遠隔臨場、
オンラインによる電子データ資料の確認

工事及び業務における遠隔臨場による業務の効率化



○受発注者間の工事データ共有システム（ASP） Application Service Provider

- ・公共工事を施工・管理する上で必要な情報（図面や計算書など）を、民間サーバーを介して受発注者間で電子的に一元管理・共有し、相互利用を図るシステムです。
- ・インターネット上で工事帳票の作成・提出・決裁処理を行い、協議や移動時間の削減など、業務効率の向上を図ります。



R元年6月 : 試行運用開始
 R元年度 : 実施件数：67件/年
 R2年度 : 実施件数：115件/年
 R3年4月 : 本格運用開始
 R3年度 : 実施件数：134件/年
 R4年度 : 実施件数：191件/年
 R5年10月 : 対象工事を拡大
 R5年度 : 実施件数：288件/年
 ⇒研修等を通じて更なる利用促進を図ります

宍道湖流域下水道のストックマネジメント

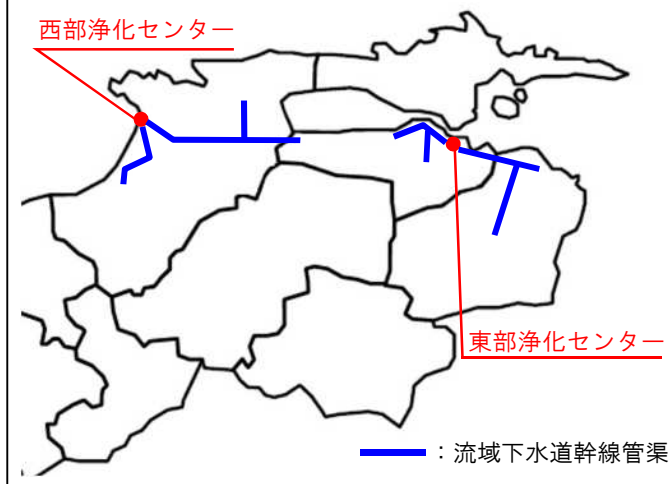
R 5 補正予算額 1 8 9 百万円
R 6 当初予算額 1, 4 5 0 百万円

【事業概要】

- ・宍道湖流域下水道は昭和56年4月に東部処理区が旧松江市において供用を開始し、43年が経過しました。
- ・老朽化の進む下水道施設の機能を維持していくため、施設全体の状態の予測と個々の施設の重要度を踏まえた改築・更新を行っていく必要があります。
- ・限られた財源を有効に活用するため、改築・更新の優先順位を定めたストックマネジメント計画に基づき適切に事業を行います。

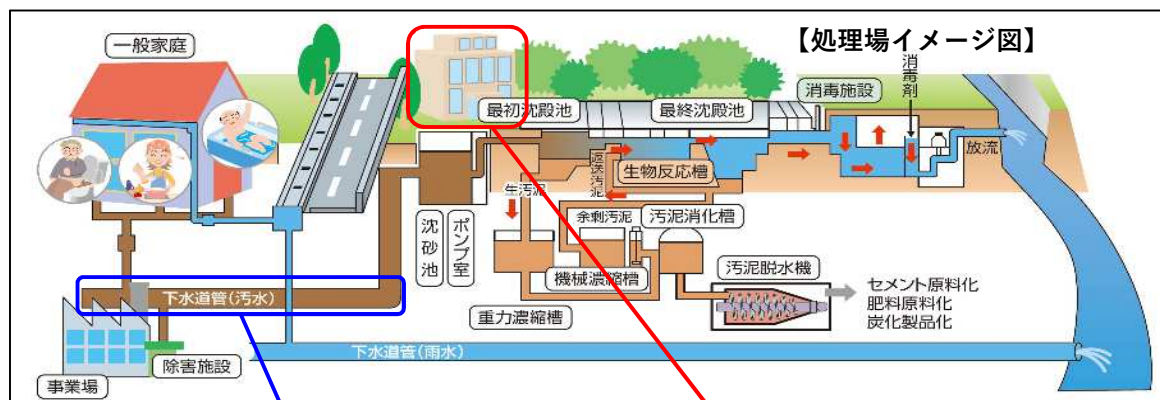
【事業箇所】

- ・東部浄化センター（松江市竹矢町）
- ・西部浄化センター（出雲市大社町）
- ・宍道湖流域下水道幹線管渠



【R6主な事業内容】

- ・東部／マンホール更生工事
- ・西部／管理棟 屋上防水・外壁改修工事



【マンホール躯体（東部浄化センター）】



【管理棟（西部浄化センター）】

【期待される整備効果】

宍道湖流域下水道が今後も長期に渡り安定的な運転を行うことで、宍道湖・中海等の水質保全や快適な都市環境の確保に寄与します。

下水道バイオマスの有効活用

【事業概要】

- ・ 島根県が管理する宍道湖流域下水道では、下水道に流れる汚水を処理する過程で発生した可燃性の消化ガスや汚泥といったバイオマスを有効活用しています。

消化ガスの発電利用

- ・ 微生物が汚泥を分解する際に発生するメタンなど可燃性の消化ガスを発電のエネルギー源として活用
⇒ 作った電気は、電力会社へ販売、または処理場施設の電力として利用しています。
- ・ 令和5年度の発電量は約390万kWh
(一般家庭の約780世帯分の使用電力量に相当)

汚泥消化タンク
【西部浄化センター】



発電施設
【東部浄化センター】



汚泥の再資源化

- ・ 汚泥を脱水処理して土のような状態にし、肥料や炭化製品などの原料として活用
⇒ 農畜産関連やリサイクル関連の企業が有償で引き取り
 - ・ 令和5年度の再資源化汚泥量は約1.4万トン
- ※ 資源再利用であるため、焼却処分した場合に比べて温室効果ガスの排出量の削減が期待されます。



【参考】

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策

- 防災・減災、国土強靱化の観点から、平成30～令和2年度の「3か年緊急対策」を加速化・深化させるため、令和3～7年度の「**5か年加速化対策**」が令和2年12月11日に閣議決定され、4年目分の予算が、令和5年度補正予算に計上されました。
- 島根県では、江の川流域の治水事業や、道路落石対策など、必要な事業が多く残されていることから、**国土強靱化予算を最大限活用し、県民の安全・安心を確保するための対策を強力に推進**します。
(島根県土木部の令和5年度補正予算：195億円、令和3～6年度の補正予算の総額：633億円)

◆ 防災・減災、国土強靱化のために必要な事業の例 ◆

流域治水対策



流域治水対策が進む中川
[中川：松江市黒田町]

道路の落石対策



道路への落石防護ネット設置
[西郷都万郡線：隠岐の島町]

老朽化対策



橋梁の補強、落橋防止対策
[市木井原線：邑智郡邑南町]

POINT!!

- **5か年加速化対策**では、新たに
 - ・ 流域治水対策
 - ・ 高速道路のミッシングリンク解消と4車線化
 - ・ 河川や道路、砂防などの老朽化対策等が追加されました。
- 事業規模が3か年緊急対策の**7兆円程度から15兆円程度に拡大**され、年度単位での事業規模も増加しました。
- 県の試算では、国土強靱化のために実施する公共土木事業予算は、今後とも少なくとも1兆円以上が必要です。
- このため、3か年の緊急対策の後も、5か年加速化対策予算を最大限活用し、防災・減災、国土強靱化対策を強力に進めていきます。

【参考】

大橋川改修（国直轄事業）

【事業概要】

大橋川沿川は堤防が未整備の区間があるとともに、上下流の2箇所に狭窄部を抱えるため、昭和47年7月豪雨や平成18年7月豪雨により、松江市の中心市街地が浸水する等被害が発生しました。このため、地域の安全性の向上を図るため、堤防整備・河道拡幅等を実施しています。

【事業箇所】

松江市内 大橋川沿川



○整備計画で実施する事業



【R6事業内容】

- ・築堤護岸の整備
- ・用地買収の促進

【期待される整備効果】

- ・戦後最大の被害をもたらした昭和47年7月洪水が再び発生した場合でも、家屋の浸水被害の発生を防止します。

天神川水門 (H27.1完成)



上追子川排水機場 (R3.9完成)



【参考】

江の川下流河川改修事業 ～緊急対策特定区間～

R 5 補正予算額 4 9 8 百万円
R 6 当初予算額 2, 0 3 0 百万円

【事業の必要性及び概要】

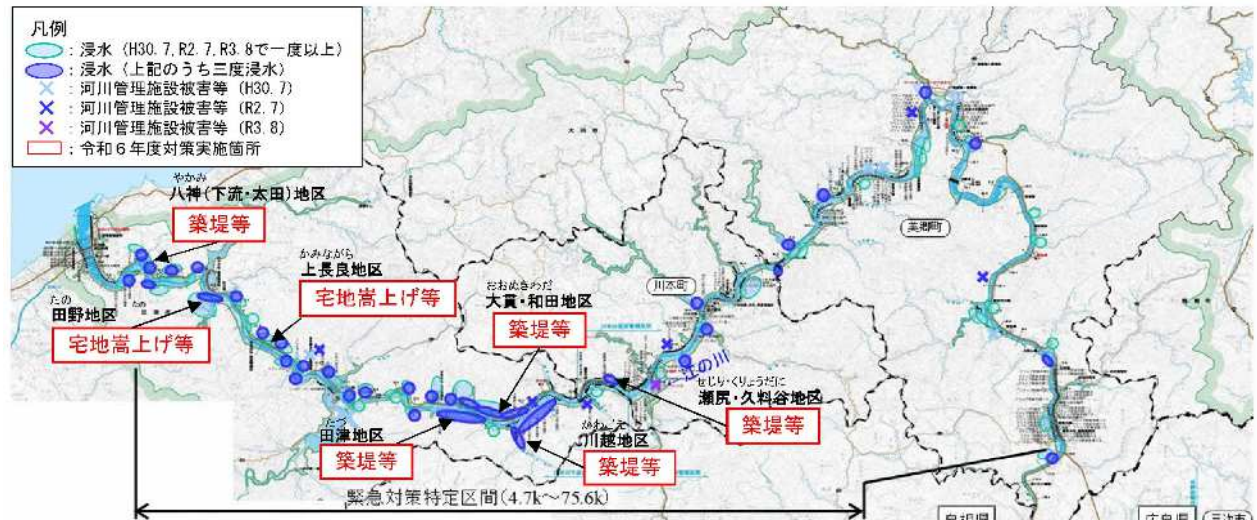
- 江の川下流においては、平成30年7月、令和2年7月豪雨、令和3年8月の大雨により、近年3度の広範にわたる浸水被害が発生しました。このため令和3年から概ね10年間で河川整備を重点的に実施する**緊急対策特定区間**に設定することで家屋等の浸水被害を早期に実施するとともに、流域市町によるまちづくりや島根県を行う支川対策と連携し、流域全体の安全性向上を図ります。

【事業箇所】

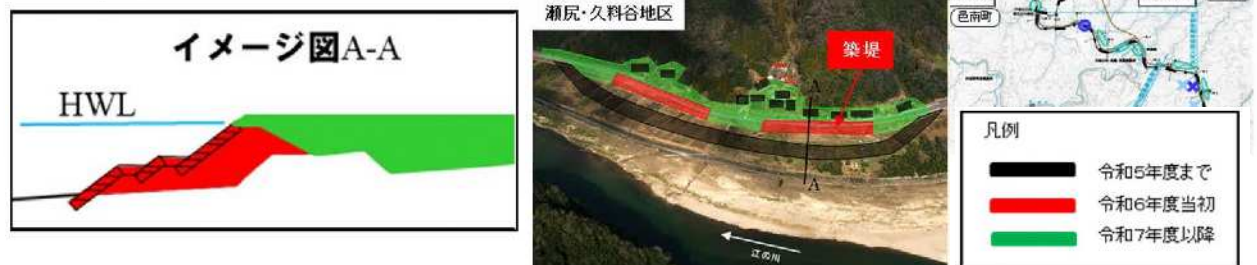
まつかわちょうやかみ
江津市松川町八神地先
～ つかにし
～ 邑智郡美郷町都賀西地先



事業箇所



イメージ図A-A



【R 6 主な事業内容】

- 瀬尻・久料谷地区外において築堤等を実施

【期待される整備効果】

- 築堤や宅地嵩上げ等の河川整備を実施することで、令和2年7月豪雨規模の洪水に対して、溢水・越水による家屋等浸水被害の防止を図ります。

【参考】

山陰道 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路

R 5 補正予算額	1,410百万円
R 6 当初予算額	7,421百万円

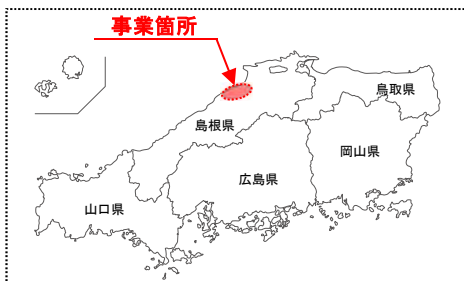
事業進捗率 (R5末時点) 出雲・湖陵道路 約89%
湖陵・多伎道路 約85%

【事業概要】

- 山陰道 出雲～多伎間は、島根県の東西の連絡性の強化、災害発生時の代替路の確保等を目的とした延長8.9kmの自動車専用道路です。
- 今年度は、改良工事、舗装工事、道路附属物設置工事等を推進します。

【事業箇所】

出雲市知井宮町～出雲市
多伎町久村



【R 6 事業内容】

- 改良工事、舗装工事、道路附属物設置工事

【期待される整備効果】

- 国道9号沿線には、島根県内観光客数第一位である出雲大社をはじめ、国宝松江城や世界遺産石見銀山など多くの観光地が点在しています。
- 山陰道の整備により、高速道路がネットワーク化され、クルーズ船や空港利用者等の周遊観光促進が期待されます。

【別表】

令和6年度 新規着手（道路事業）

番号	市町村	路線種別	路線名	工区名	備考
1	浜田市	(国)	186号	上来原2	R6当初
2	出雲市	(一)	大社立久恵線	松寄下	R6当初
3	益田市	(一)	益田港線	中吉田	R6当初

※ (国) : 一般国道、(主) : 主要地方道(県道)、(一) : 一般県道

※ 今後、予算や現場状況により変更となる可能性があります。

【別表】

令和6年度 完了予定（道路事業）

番号	市町村	路線種別	路線名	工区名	備考
1	松江市	(一)	海潮穴道線	上来待3	
2	出雲市	(主)	湖陵掛合線	三部	
3	出雲市	(主)	斐川一畑大社線	鷺浦	
4	益田市	(国)	488号	落合	
5	安来市	(一)	米子広瀬線	安田2	
6	奥出雲町	(主)	玉湯吾妻山線	三成1	
7	奥出雲町	(主)	玉湯吾妻山線	大馬木	
8	美郷町	(国)	375号	粕湊	
9	邑南町	(主)	浜田作木線	吉原	
10	津和野町	(一)	青原停車場線	青原	
11	西ノ島町	(一)	西ノ島海士線	倉の谷	
12	西ノ島町	(一)	珍崎浦郷港線	珍崎	
13	隠岐の島町	(国)	485号	西村2	
14	隠岐の島町	(一)	池田中町線	池田	

※ (国)：一般国道、(主)：主要地方道(県道)、(一)：一般県道

※ 今後、予算や現場状況により変更となる可能性があります。

【別表】

令和6年度 完了予定（河川事業）

番号	箇所・事業名	施工位置	備考
1	東川	江津市浅利町	

※ 今後、予算や現場状況により変更となる可能性があります。

【別表】

令和6年度 新規着手（砂防事業）

番号	箇所・事業名	施工位置	備考
1	城平 砂防事業	出雲市多伎町口田儀	R5補正
2	倉ノ谷B 砂防事業	隠岐郡西ノ島町宇賀	R5補正
3	野郷地区 地すべり対策事業	出雲市野郷町	R5補正
4	若宮A地区 急傾斜地崩壊対策事業	雲南市三刀屋町給下	R5補正
5	日の里地区 急傾斜地崩壊対策事業	益田市匹見町道川	R5補正
6	澄川地区 急傾斜地崩壊対策事業	益田市匹見町澄川	R5補正
7	馬馳上川 砂防事業	仁多郡奥出雲町馬馳	R6当初
8	阿須那出羽川左支渓L 砂防事業	邑智郡邑南町阿須那	R6当初
9	上口地区 急傾斜地崩壊対策事業	雲南市木次町山方	R6当初
10	黒川地区 急傾斜地崩壊対策事業	浜田市高佐町	R6当初

※ 今後、予算や現場状況により変更となる可能性があります。

【別表】

令和6年度 完了予定（砂防事業）

番号	箇所・事業名	施工位置	備考
1	志戸川 砂防事業	松江市鹿島町佐陀本郷	
2	小僧谷下川 砂防事業	雲南市大東町下久野	
3	中原谷川 砂防事業	雲南市木次町西日登	
4	妙見谷B 砂防事業	雲南市木次町里方	
5	寄居谷川 砂防事業	出雲市十六島町本郷	
6	柳C 砂防事業	浜田市旭町丸原	
7	鳴谷川 砂防事業	鹿足郡津和野町名賀	
8	上横立下谷川 砂防事業	鹿足郡吉賀町七日市	
9	藤山川 砂防事業	隠岐郡海士町福井	
10	東山地区 地すべり対策事業	大田市仁摩町仁万	
11	師弟地区 急傾斜地崩壊対策事業	雲南市大東町西阿用	
12	十日市地区 急傾斜地崩壊対策事業	雲南市掛合町掛合	

※ 今後、予算や現場状況により変更となる可能性があります。

<問い合わせ先>

項目	役職	氏名	問い合わせ先※	該当ページ
総括	土木総務課長	金坂 康弘	5224	1-3, 41
建設業	建設産業対策室長	武田 洋子	5320	35
建設業、DX	技術管理課長	山根 辰雄	5092	35-38
道路	道路維持課長	実原 哲也	5187	11-13, 28-29
道路	道路建設課長	梶 敦司	6456	4-10, 45-46
道路（国直轄）	高速道路推進課長	米原 久人	6271	44
河川	河川課長	三原 康一	5195	14-16, 18, 43, 47
ダム	河川開発室長	栗栖 弘行	6207	17
河川（国直轄）	斐伊川神戸川対策課長	稲田 久人	5937	42
港湾	港湾空港課長	遠藤 徹	5228	22-25
空港	空港整備室長	仙田 敦志	6317	26-27
砂防	砂防課長	成相 剛	5205	19-21, 28, 48-49
公園、街路	都市計画課長	神田 孝	5209	30-32
下水道	下水道推進課長	中村 伸二	5932	39-40
住宅	建築住宅課長	森山 研輔	5216	33-34

※ 直通電話：0852-22-〇〇〇〇（上記の4桁番号）